

明治丸シンポジウム開催記録

東京商船大学

第1回 明治丸シンポジウム

平成14年11月2日(土)

主旨：東京商船大学には明治7年建造の重要文化財「明治丸」が構内に保存されています。この度、教育・文化週間の企画の一つとして、この文化遺産を活用して船や隅田川、江東区に関連したテーマでシンポジウムを開きます。本シンポジウムが、地域との結びつき、船を通じた文化の伝承、理工系教育の推進などの一助になれば幸いです。講演内容はあまり堅苦しいものとはせず気楽に聞くことができる内容を心がけておりますので是非、多くの方々の来聴をお待ちしております。

日時：2002年11月2日(土) 13時～16時30分

場所：1号館(116教室)

講演：

東地中海の海事遺跡を訪ねて：丹羽隆子(東京商船大学 教授)	13:00-13:50
ベネツィアの水辺の暮らし：陣内美子	13:50-14:40
休憩	14:40-15:00
明治丸主機関と各種蒸気機関：丸山四郎(元三菱重工)	15:00-15:30
明治丸ふしぎ発見：庄司和民(東京商船大学 名誉教授)	15:30-16:00
質疑応答：司会 庄司邦昭	16:00-16:30

参加費：無料

企画：東京商船大学 船の博物学講座(理工系教育推進経費)

問い合わせ先：東京商船大学 学外連携推進室 南齋(なんさい)

Tel: 03-5245-7312、 E-mail: kouho@jim.tosho-u.ac.jp

なお当日は10時より15時まで、明治丸と百周年記念資料館の見学ができます。

東京海洋大学海洋工学部

第2回 明治丸シンポジウム

平成 15 年 11 月 1 日 (土)

主旨：東京海洋大学海洋工学部（東京商船大学）がある江東区越中島には明治7年建造の重要文化財「明治丸」が構内に保存されています。この度、教育・文化週間の企画の一つとして昨年度に引き続き、この文化遺産を活用して船や隅田川、江東区に関連したテーマでシンポジウムを開きます。本シンポジウムが、地域との結びつき、船を通じた文化の伝承、理工系教育の推進などの一助になれば幸いです。講演内容はあまり堅苦しいものとはせず気楽に聞くことができることを心がけておりますので是非、多くの方々の来聴をお待ちしております。

日時：2003年11月1日（土）13時～16時40分

場所：東京海洋大学 越中島校舎1号館（116教室）

講演：

ご挨拶：桑島 進（副学長）	13:00-13:05
明治丸を建造したグラスゴウ：丸山四郎（元三菱重工）	13:05-13:50
明治丸の保存に関する提言：戸苅 清（元運輸省航海訓練所）	13:50-14:35
休憩	14:35-14:55
ゴールデンハインド号の世界周航：北澤昌永（東京湾水先区水先人会）	14:55-15:30
江戸猪牙船の復元：斎藤富三（江東区和船友の会）	15:30-16:05
田舟と潟板：岩淵聡文（東京海洋大学）	16:05-16:40
懇談	16:40～

参加費：無料

企画：東京海洋大学海洋工学部 船の博物学講座

問い合わせ先：東京海洋大学 研究協力係（越中島地区）吉田、加賀

Tel：03-5245-7310、 Fax：03-5245-7330

E-mail：yoshida@s.kaiyodai.ac.jp, kaga@s.kaiyodai.ac.jp

なお当日は10時より15時まで、明治丸と百周年記念資料館の見学ができます。

第3回 明治丸シンポジウム

平成16年11月6日(土)

主旨：東京海洋大学海洋工学部（東京商船大学）がある江東区越中島には明治7年建造の重要文化財「明治丸」が構内に保存されています。この度、教育・文化週間の企画の一つとして昨年度に引き続き、この文化遺産を活用して船や隅田川、江東区に関連したテーマでシンポジウムを開きます。本シンポジウムが、地域との結びつき、船を通じた文化の伝承、理工系教育の推進などの一助になれば幸いです。講演内容はあまり堅苦しいものとはせず気楽に聞くことができることを心がけておりますので是非、多くの方々の来聴をお待ちしております。

日時：2004年11月6日(土) 13時～16時30分

場所：東京海洋大学 越中島校舎1号館（116教室）

講演：

ご挨拶：大津 皓平（海洋工学部長）	13:00-13:05
海の記念日制定私考：伊藤喜市（元海難審判庁）	13:05-13:40
保存船の維持管理：小堀信幸（船の科学館 学芸部）	13:40-14:15
休憩	14:15-14:40
体験談 明治丸と東京大空襲	14:40-16:00
星名 富美子、和泉 純夫（やよい寿司、高橋）	
今塚 武雄（牡丹町1丁目）	
四ツ谷志津江（古石場1丁目東）	
吉安 琴（古石場）	
庄司 和民（東京商船大学）	
懇談	16:00-16:30

企画：東京海洋大学海洋工学部 船の博物学講座

問い合わせ先：住所：135-8533 東京都江東区越中島2-1-6 東京海洋大学海洋工学部

実行委員 庄司 邦昭

電話&ファクシミリ：03-5245-7394（庄司研究室）

電子メールアドレス：shoji@e.kaiyodai.ac.jp

大学ホームページ：<http://www.kaiyodai.ac.jp>

＊ ＊なお当日は10時より15時まで、明治丸と百周年記念資料館の見学ができます。＊ ＊

第4回 明治丸シンポジウム

平成17年11月5日(土)

主旨：東京海洋大学海洋工学部（東京商船大学）がある江東区越中島には明治7年建造の重要文化財「明治丸」が構内に保存されています。この度、教育・文化週間の企画の一つとして昨年度に引き続き、この文化遺産を活用して船や隅田川、江東区に関連したテーマでシンポジウムを開きます。本シンポジウムが、地域との結びつき、船を通じた文化の伝承、理工系教育の推進などの一助になれば幸いです。講演内容はあまり堅苦しいものとはせず気楽に聞くことができることを心がけておりますので是非、多くの方々の来聴をお待ちしております。

日時：2005年11月5日(土) 13時～16時30分

場所：東京海洋大学 越中島校舎1号館（116教室）

講演：

ご挨拶：大津 皓平（海洋工学部長）	13:00-13:05
明治丸の現状について：岡村 勝（明治丸ボランティアクラブ）	13:05-14:55
文化財の保存・修復について：長瀬 賢（文化財ユニオン）	14:55-14:45
休憩	14:45-15:05
私の愛するポルトガル：入手 春香（東京海洋大学大学院）	15:05-15:40
雲鷹丸と漁業練習船のはなし：林 敏史（東京海洋大学海鷹丸一等航海士）	15:40-16:10
懇談	16:10-16:30

企画：東京海洋大学海洋工学部 船の博物学講座

協賛：NPO法人 江東区の水辺に親しむ会、明治丸ボランティアクラブ

問い合わせ先：住所：135-8533 東京都江東区越中島2-1-6 東京海洋大学海洋工学部

実行委員 庄司 邦昭

電話&ファクシミリ：03-5245-7394（庄司研究室）

電子メールアドレス：shoji@e.kaiyodai.ac.jp

大学ホームページ：<http://www.kaiyodai.ac.jp>

庄司研究室ホームページ：<http://www.e.kaiyodai.ac.jp/~shoji-labo/>

＊ ＊なお当日は10時より15時まで、明治丸と百周年記念資料館の見学ができます。＊ ＊

第5回 明治丸シンポジウム（御案内）

2006年（平成18年）11月4日（土）

13時～17時

東京海洋大学海洋工学部（東京商船大学）がある江東区越中島には明治7年建造の重要文化財「明治丸」が構内に保存されています。本研究室では教育・文化週間の企画の一つとして昨年度に引き続き、この文化遺産を活用して船や隅田川、江東区に関連したテーマでシンポジウムを開きます。本シンポジウムが、地域との結びつき、船を通じた文化の伝承、理工系教育の推進などの一助になれば幸いです。講演内容はあまり堅苦しいものとはせず気楽に聞くことができることを心がけておりますので是非、多くの方々の来聴をお待ちしております。

場所：東京海洋大学 海洋工学部（越中島校舎）1号館116教室

参加費：無料

講演スケジュール：

13:00-13:10 開会ご挨拶：藤田稔彦（海洋工学部長）

13:10-14:05 朝鮮壬午事変における明治丸と花房義質公使：

花房元顕（中部学院大学短期大学部）

14:05-15:00 「海の記念日」制定私考（続）－「明治丸」命名私考その他－：

伊藤喜市（元海難審判庁）

15:00-15:20 休憩

15:20-15:40 <明治丸>リフィットボランティア報告：高橋昌代（ソルティフレンズ）

15:40-16:10 明治丸四方山話：庄司和民（東京商船大学名誉教授）

16:10-16:30 江戸湊 明治丸シンポジウムに寄せて：

楊 英美（江東区の水辺に親しむ会）

16:30-17:00 懇談

企画：東京海洋大学海洋工学部 造船学研究室

協賛：NPO法人江東区の水辺に親しむ会、明治丸ボランティアクラブ

問い合わせ先：住所：135-8533 東京都江東区越中島2-1-6 東京海洋大学海洋工学部

実行委員会 庄司 邦昭

電話&ファクシミリ：03-5245-7394（庄司研究室）

電子メールアドレス：shoji@e.kaiyodai.ac.jp

参考：大学ホームページ：<http://www.kaiyodai.ac.jp>

庄司研究室ホームページ：<http://www.e.kaiyodai.ac.jp/~shoji-labo/>

平成19年11月4日(日)開催【第6回明治丸シンポジウム】

○テーマ:「東京海洋大学と江東区水辺のまちづくり」

○主催:国立大学法人東京海洋大学海洋工学部

共催:特定非営利法人江東区の水辺に親しむ会

後援:江東区、江東区教育委員会、財団法人江東区地域振興会、東京商工会議所江東支部、

深川観光協会、国土交通省関東地方整備局港湾空港部(予定)、国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所、東京都建設局河川部、東京都建設局港湾部、芝浦工業大学、読売新聞社

○会場:東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 講堂(定員400人、入場無料)

○総合司会:東京海洋大学 海洋工学部教授 庄司 邦昭(パネルディスカッション終了時まで)

○開会挨拶:東京海洋大学 海洋工学部長 藤田 稔彦【14:00~14:15】

・これまで明治丸周辺整備小委員会で検討してきた整備計画案について

○ゲストスピーチ:江東区長 山崎 孝明【14:15~14:30】

・施策総合の観点から、明治丸シンポジウムに寄せて

○基調講演:関東学院大学教授 宮村 忠【14:30~15:00】

・日本の海洋文化について

○パネルディスカッション【15:15~16:50】

観点	登壇者(案)	ご発言いただきたいポイント
文化財(明治丸)保護の観点から 【国立大学法人東京海洋大学】	庄司 和民 名誉教授	・ 明治丸の歴史と価値 ・ 明治丸保存活動の経過報告
まちづくりの観点から 【株式会社生活構造研究所】	松川 淳子 代表	・ 地域資源としての東京海洋大学の位置づけ ・ 水辺のまちづくりのソフト戦略について
都市再生推進の観点から 【独立行政法人都市再生機構】 (東京大学先端科学技術研究センター)	遠藤 薫 教授	・ スーパー堤防の整備事例
地域・観光振興の観点から 【深川観光協会】	石島 龍治 会長	・ 門前仲町などとの回遊性の確保 ・ 水辺、水路を活かした観光振興の視点
海洋文化振興の観点から 【関東学院大学】	宮村 忠 教授	・ 諸外国の例にみる海洋文化振興 ・ 海洋文化振興の取り組み強化の必要性
コーディネーター 【国立大学法人東京海洋大学】	苦瀬 博仁 教授	・ (大学の地域への貢献)
まとめ	—	・ 地域資源としての明治丸を再認識 ・ 東京海洋大学の位置づけを再確認 ・ 再生は地域の人の意識から ・ 今後、関係者が連携して明治丸の保全・活用方策、 ひいては周辺整備に取り組んでいくことが重要

1者15分で5名=75分、質疑・まとめ等20分、全体で1時間35分。

○閉会挨拶:特定非営利法人江東区の水辺に親しむ会 理事長 須永 淑子【16:50~16:55】

○懇親会(関係者にて)【17:00~18:00】

第7回明治丸シンポジウム（海洋文化編） ー明治丸と小笠原ー

東京海洋大学越中島キャンパス（江東区）にある国の重要文化財「明治丸」は、明治7年にイギリスのグラスゴーで建造され、翌8年に日本に回航されました。明治9年には、東北地方を巡幸された明治天皇が青森から明治丸に乗船され、横浜に到着した7月20日を記念して「海の日」も制定されました。

また明治8年10月には政府の代表団を乗せて小笠原諸島に向かい、高速の明治丸がイギリスの軍艦よりも2日早く到着したことで、日本の領有権を主張する上で大きな貢献をしました。日本は陸地面積では世界60位ですが、排他的経済水域を含む面積では世界6位の海洋国家です。

戦後米国の統治下にあった小笠原諸島が1968年に返還され、40周年を迎えた今年、小笠原諸島の重要性和、海洋文化の象徴としての「明治丸」の役割を考えたいと思います。

今年で7回目を迎える「明治丸シンポジウム」にぜひともご参加ください。

日時：2008年11月2日（日）14時～17時

場所：東京海洋大学越中島キャンパス 2号館2102教室

14:00-14:05	開会の挨拶	鶴田三郎	（東京海洋大学海洋工学部長）
14:05-14:15	シンポジウムによせて	佐藤哲章	（江東区副区長）
14:15-14:45	小笠原諸島の日本帰属の歴史	鈴木高弘	（小笠原諸島史研究会代表）
14:45-15:25	保存船と街づくり国づくり	ロイ・ジェームス	（ロールスロイスジャパン元社長）
15:25-15:55	小笠原と汐路丸	庄司和民	（東京商船大学名誉教授）
15:55-16:15	休憩		
16:15-16:45	小笠原諸島の重要性和と振興開発	山近英彦	（国土交通省特別地域振興官）
16:45-17:15	小笠原諸島の現在と未来	長島忠義	（小笠原村教育委員会教育長）
17:15-17:20	閉会の挨拶	須永俣子	（特定非営利活動法人 江東区の水辺に親しむ会 理事長）
17:20-18:00	懇親会		

同時開催 小笠原に関するポスター展示 特別展（小笠原と明治丸）10月14日（火）～11月02日（日）
東京海洋大学越中島キャンパス明治丸船内



（小笠原父島二見浦における明治丸（左）と英国軍艦カラー）

主催 国立大学法人東京海洋大学海洋工学部

第7回明治丸シンポジウム実行委員会

共催 特定非営利活動法人 江東区の水辺に親しむ会

後援 芝浦工業大学、国土交通省、江東区、東京都小笠原村
江東区教育委員会、江東区地域振興会、深川観光協会
東京都建設局、国土交通省港湾空港部、
関東地方整備局荒川下流河川事務所
商工会議所江東支部

第8回

明治丸シンポジウム

～ 現 状 か ら 未 来 に 向 け て ～

プログラム

<第一部> 明治丸の現状

13:30 開会挨拶

東京海洋大学海洋工学部長 鶴田三郎

13:35 明治丸とは

東京海洋大学海洋工学部 海事システム工学科教授 庄司邦昭

14:05 世界の水辺の街と海洋文化

東京海洋大学名誉教授 丹羽隆子

14:45 明治丸特別展示、灯台展示見学及び休憩

【明治丸所蔵資料の特別展示】

15:15 講演「水辺の街～海をもう一度見つめ直して～」

東京海洋大学 産学・地域連携推進機構

客員准教授 さかなクン

15:45 明治丸海事ミュージアム事業について

東京海洋大学 理事・副学長 今津隼馬

さかなクンプロフィール

東京海洋大学客員准教授
お魚らいふ・コーディネーター
講演者 地球いさものの応援団



略歴
☆日本政府・クールアースアンバサダー
☆水産庁・水産資源審議会特別委員(元)
☆環境省・「海の未来」応援団メンバー
☆JF全国漁業協同組合連合会・魚食普及委員
☆グアム政府観光局「大使」
☆千葉県立安房博物館客員学芸員
☆千葉県館山市「ふるさと親善大使」第一号
☆静岡県御前崎市なぶら焼酎大使
☆新潟県おさかな大使
☆よしもとおもしろ水族館研究員

<第二部> 明治丸を見てみよう

16:00 明治丸広場から明治丸見学

東京海洋大学名誉教授 庄司和民他

会場のご案内

門前仲町駅

4番出口

越中島駅

至
月島駅

明治丸

越中島会館

国立大学法人東京海洋大学
越中島キャンパス

住所：東京都江東区越中島2-1-6

第9回

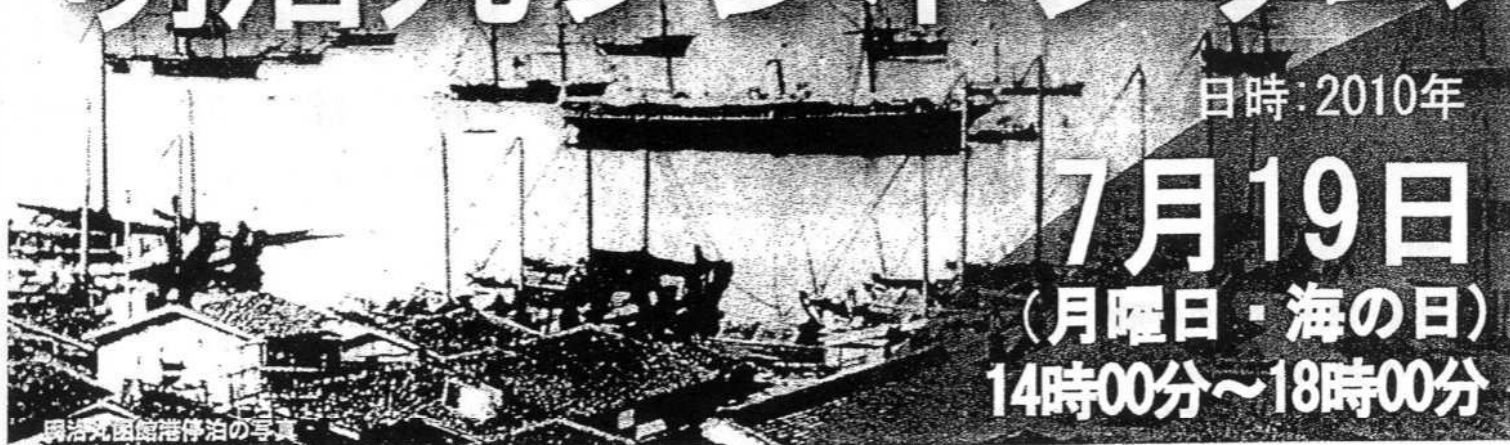
明治丸シンポジウム

日時: 2010年

7月19日

(月曜日・海の日)

14時00分～18時00分



明治丸函館港停泊の写真

テーマ: 「日本の海の夜明け」 会場: 東京海洋大学 越中島会館 2 階講堂

国の重要文化財明治丸は、西欧列強と肩を並べるために、明治6年明治政府が英国に発注したものです。明治丸の船内には、伊藤博文がサインした発注書のコピーが展示されています。200年以上続いた鎖国時代から変革を遂げた時代、明治丸は日本の国の期待を背負い、インフラとしての灯台の整備、明治天皇の東北・北海道地方巡幸の御用船、排他的経済水域を含む面積で世界6位となるきっかけを生んだ小笠原との交渉など、数々の歴史舞台に登場しました。明治丸前後の時代は、日本の国を新しく構築するために必死で頑張った若者たち、それを容認した大人たちが居た時代です。今注目を浴びる坂本龍馬も、この時代を駆け抜けた1人でした。当初の耐用年数17年を超えて20年以上就航した明治丸は、岩崎弥太郎によって創設された東京高等商船学校に譲渡され、係留練習船として、海の若者達を育てることになりました。現存のわが国最古の鉄船で、帆を備えた汽船明治丸の登場する時代、日本と日本人がどんな足跡を残したのかを検証してみます。

プログラム

- 14:00-14:10 開会のバグパイプ演奏
- 14:10-14:15 開会のあいさつ (東京海洋大学学長)
- 14:15-14:20 来賓挨拶 (江東区長)
- 14:20-15:20 基調講演「開国前夜の日本人と海」
植松三十里 (作家)
- 15:20-15:40 休憩
- 15:40-16:30 明治丸クイズ出題と解説 (さかなクン)
- 16:30-16:40 明治丸の歴史DVDについて
- 16:40-16:45 閉会挨拶 (NPO法人 江東区の水辺に親しむ会)
- 16:45-18:00 懇親会

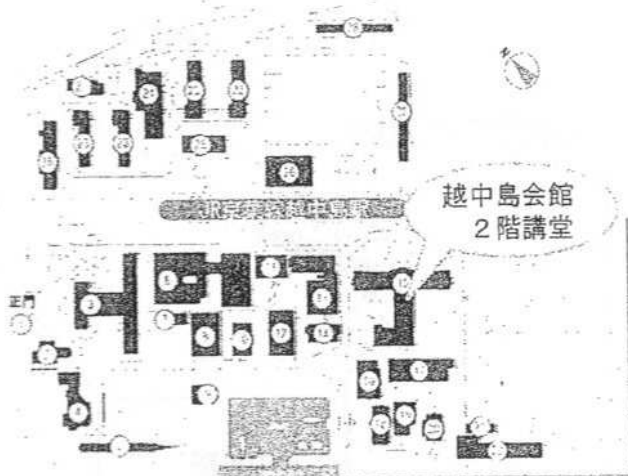


植松三十里



さかなクン

国立大学法人 東京海洋大学越中島キャンパス
住所: 135-8533 東京都江東区越中島2-1-6
JR京葉線 越中島駅 2番出口から徒歩約2分
都営大江戸線・東西線 門前仲町 4番出口から徒歩約10分



お申込み: お名前・住所・電話番号・E-mailアドレス、「明治丸シンポジウム申し込み」と明記のうえ、ハガキもしくはFAX、E-mailにてお申込み下さい。 FAX: 03-5245-7394 E-mail: shoji@kaiyodai.ac.jp

主催 国立大学法人 東京海洋大学
共催 NPO法人 江東区の水辺に親しむ会

後援 東京都江東区
深川観光協会

東京都小笠原村
株式会社 竹中土木

協力 東京パイプバンド

第10回

「明治丸シンポジウム」

プログラム

司会：庄司邦昭（東京海洋大学教授）

13:00-13:15

学長挨拶：松山優治（東京海洋大学学長）

来賓挨拶：山崎孝明（江東区区长）

開催にあたって：松下 修

（明治丸海事ミュージアム館長/東京海洋大学教授）

演 奏：山根 篤（東京パイプバンド）

13:15-14:00

基調講演：「江戸幕末の深川」山本一力（作家）

14:00-15:00

パネリストセッション：「みんなで考える明治丸とまちづくり」

佐藤哲章（江東区副区長）

石島龍治（深川観光協会会長）

篠田義男（建築家）

松下 修（明治丸海事ミュージアム館長）

※コーディネーター 苦瀬博仁（東京海洋大学副学長）

15:00-15:15

【休憩】

15:15-16:00

講演：「小笠原に明治丸が来た」

庄司邦昭（東京海洋大学教授）

さかなクン（東京海洋大学客員准教授）

16:00-16:15

明治丸海事ミュージアム事業報告：今津隼馬（東京海洋大学副学長）

閉会挨拶：須永倅子（NPO 法人江東区の水辺に親しむ会理事長）

【月 日】平成 23 年 7 月 18 日（海の日）

【会 場】東京海洋大学越中島地区キャンパス 越中島会館 2 階講堂

【主 催】国立大学法人東京海洋大学

【共 催】NPO 江東区水辺に親しむ会/深川観光協会

【後 援】江東区/小笠原村/日本海事新聞

【協 力】株式会社竹中工務店/社団法人燈光会/東京パイプバンド

【お問合せ】東京海洋大学 明治丸海事ミュージアム meijimaru@o.kaiyodai.ac.jp

第11回 明治丸シンポジウム

「明治丸と地域防災」

司会：須永 徹子（NPO 法人江東区の水辺に親しむ会理事長）

13：00-13：15 学長挨拶：岡本信明（東京海洋大学長）

来賓挨拶：山崎孝明（江東区長）

開催にあたって：松下 修

（明治丸海事ミュージアム館長/東京海洋大学大学院教授）

バグパイプ演奏：山根 篤（東京パイプバンド）

13：15-14：15 記念講演：「船という文化資源について」

木下直之（東京大学大学院教授）

14：15-14：30 【休 憩】

14：30-16：00 パネルディスカッション：「明治丸と地域防災」

丸山隆英（国土交通省港湾局海岸・防災課長）

佐藤哲章（江東区副区長）

角田瑞彦（深川消防署長）

飯田太郎（マンション管理士）

庄司邦昭（東京海洋大学名誉教授）

刑部真弘（東京海洋大学大学院教授）

コーディネーター

苦瀬博仁（東京海洋大学大学院教授）

16：00-16：15 明治丸海事ミュージアム事業報告：鶴田三郎（東京海洋大学副学長）

閉会挨拶：石島龍治（深川観光協会長）

主催：国立大学法人東京海洋大学

共催：NPO法人江東区の水辺に親しむ会 深川観光協会

後援：江東区 小笠原村 ㈱日本海事新聞社

協力：㈱竹中工務店 東京パイプバンド

編集発行

東京海洋大学明治丸海事ミュージアム

2013年7月15日

〒135-8533

東京都江東区越中島 2-1-6

東京海洋大学明治丸海事ミュージアム

TEL:03-5245-7360

E-mail: meijimaru@o.kaiyodai.ac.jp